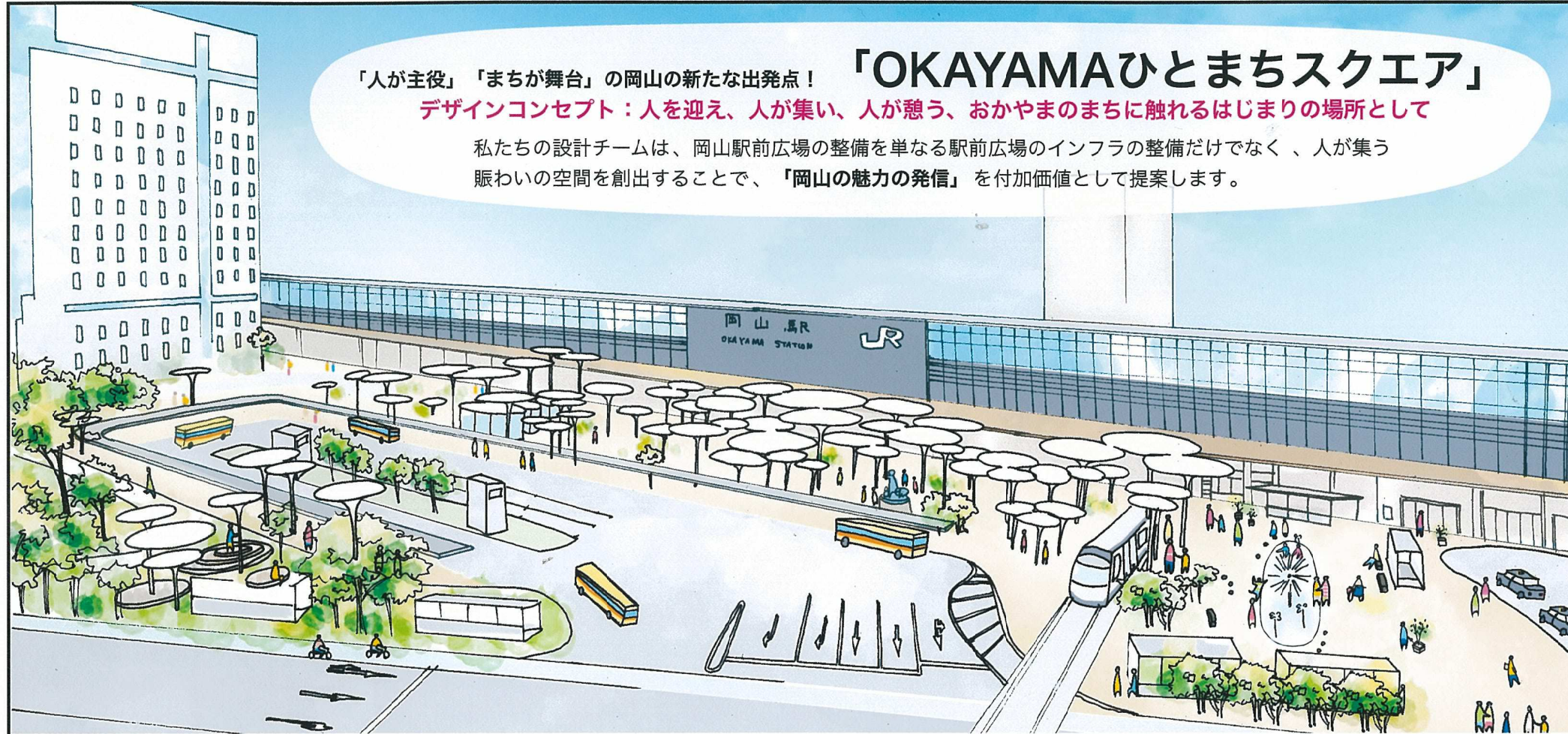


特定テーマ1に対する企画提案

「市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン」について



「人が主役」「まちが舞台」の岡山の新たな出発点！
「OKAYAMAひとまちスクエア」
 デザインコンセプト：人を迎え、人が集い、人が憩う、おかやまのまちに触れるはじまりの場所として

私たちの設計チームは、岡山駅前広場の整備を単なる駅前広場のインフラの整備だけでなく、人が集う賑わいの空間を創出することで、「岡山の魅力の発信」を付加価値として提案します。

「OKAYAMAひとまちスクエア」デザイン方針

私たちは、岡山駅前広場が新たな「岡山の顔」にふさわしい場所となるために、「人が主役のまちづくり」「岡山のまちの魅力を発信する場所」をキーワードに次の3つの方針で取り組みます。

①岡山らしさの発信

岡山に触れるはじまりの場所にふさわしい、象徴的なデザインと魅力の発信による岡山のブランド化

②にぎわいの創出

人がとどまり、集い、駅とまちをつなぐ場として、人々の自由な交流を育むことでにぎわいを創出

③中心市街地への回遊性

駅前だけで完結しない、中心市街地全体を意識したランドスケープによる回遊性の向上

中心市街地全体の活性化を図り、地域の人々に愛され、これからも多くの人を迎え入れる岡山の玄関口として、地域コミュニティ、地域産業の活性化に貢献します。

光と緑で桃太郎大通りを演出

駅前広場だけでなく、桃太郎大通りも一体的にデザインし、岡山カルチャーゾーンへ人を誘導する仕組みをつくります。

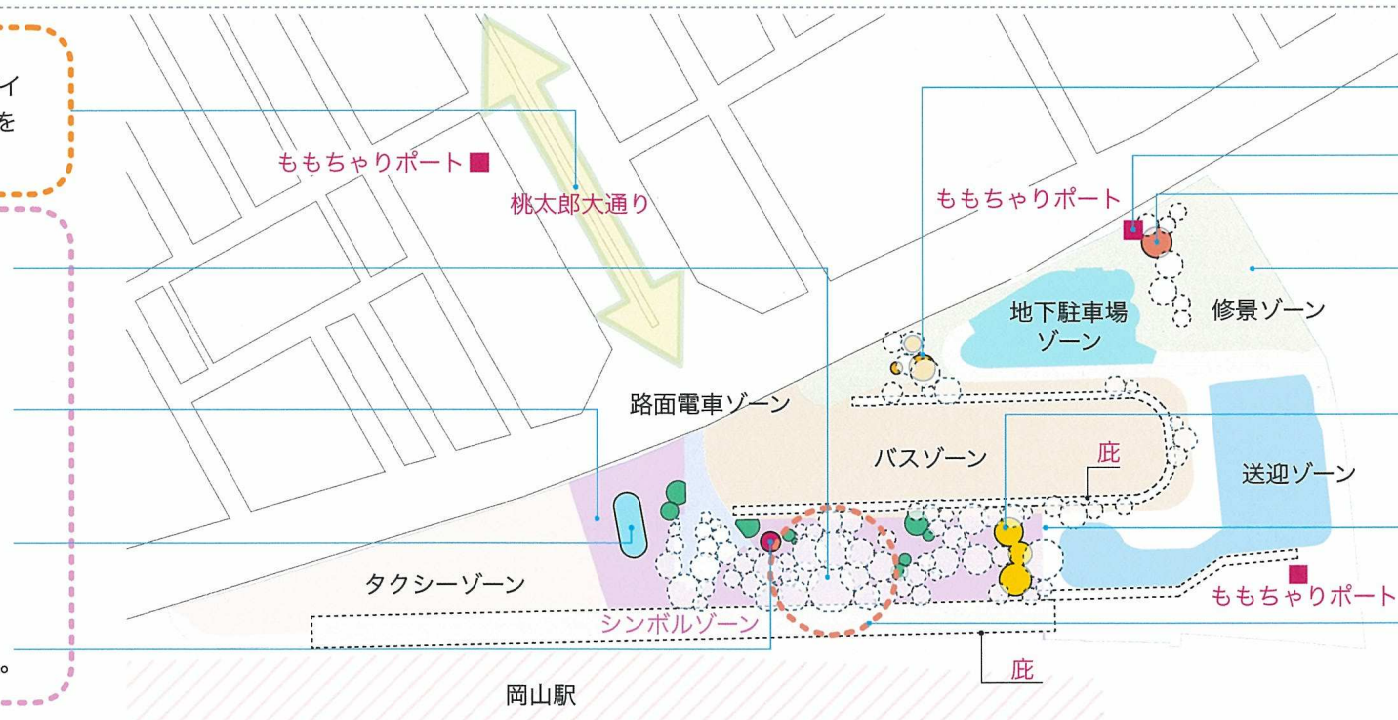
シンボルゾーン

マスカット屋根
駅前広場の屋根を象徴的なデザインとすることで、新たなランドマークになります。夜には軒裏に照明を当て、昼間とは違う風景をつくります。

路面のサイン
地面にサイン計画をします。舗装のパターンやアクセントタイル（備前焼のタイル）等を配し、路面をデザインします。

噴水(移設)
既存の噴水を移設時にフラット噴水に変更します。

桃太郎像(移設)
新たな駅前広場でもランドマークとして機能します。



修景ゾーン

- やすらぎテラス
緑に中のみんなのテラスを設けます。
- ももちやりポート設置
- ひのきカフェ
人を呼び込む仕掛けとしてカフェを設けます。
- 植栽の整備
植栽を整備し、岡山の豊かな自然を感じられる空間とします。

シンボルゾーン

- 情報拠点を集約
公共交通案内所兼待合所と岡山の魅力を発信する場所「OKAYAMA発信所」を駅前につくります。
- 植栽
植栽は身近に感じられるようシンボルゾーンにも配置します。
- イベントエリア
屋根の集まったエリアはイベントエリアとして、にぎわいを創出します。

概算工事費：10～20億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

「市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン」について

岡山駅の新たなランドマークとなる象徴的な屋根のデザイン「マスカット屋根」

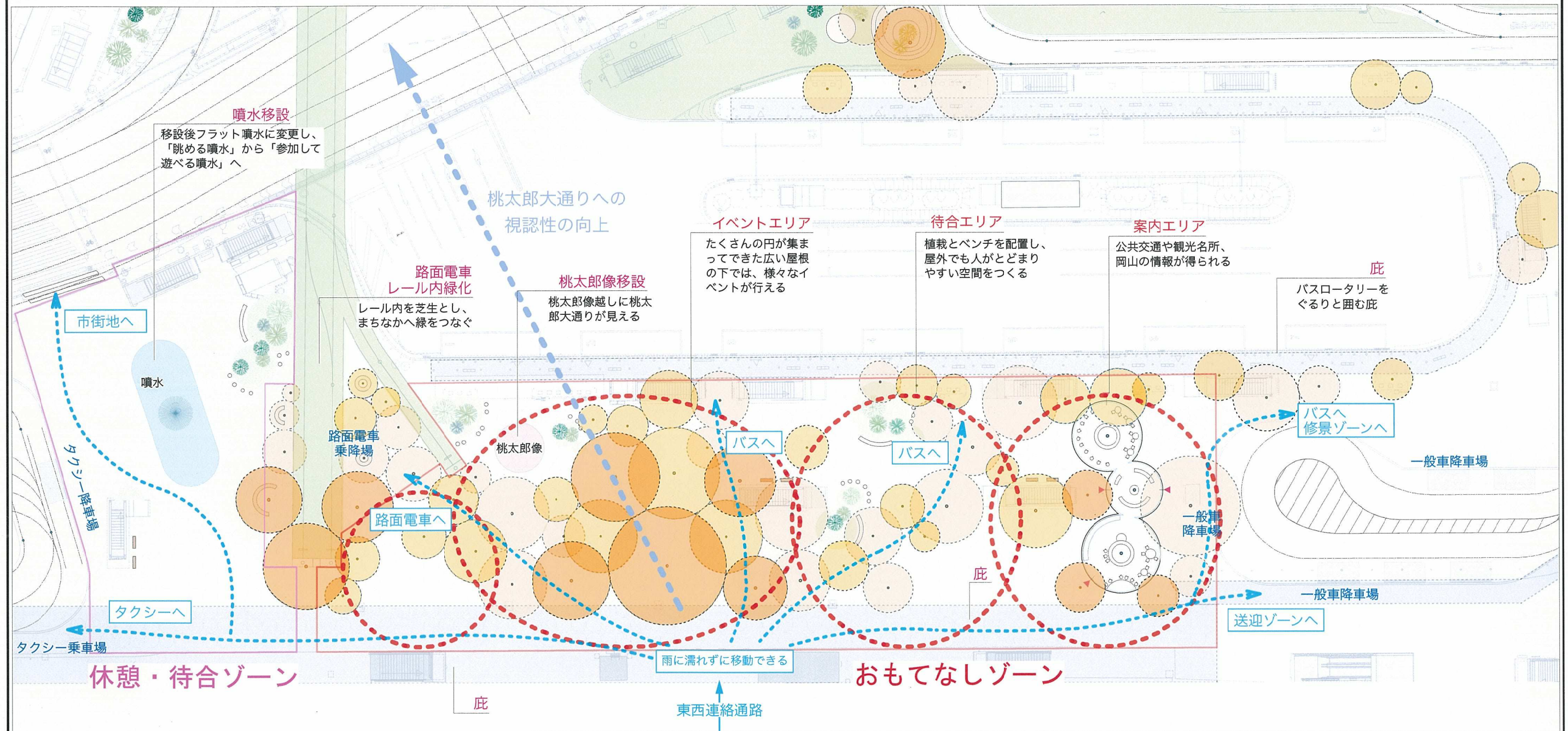
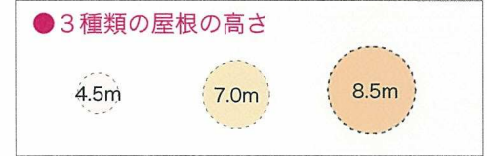
●自然環境に恵まれた「晴れの国おかやま」太陽に向かってのびるような屋根をまちのランドマークに！

駅前広場は、岡山のまちに触れるはじまりの場所として地域活動の拠り所となります。

だからこそ、この場所に架ける屋根は、雨を凌ぐ機能だけでなく、**まちの新たなランドマーク**となるデザインを提案します。

高さの違う**屋根の重なり**により、広場空間に変化をつけ、**エリアを分けます**。各乗り場への動線に屋根を配置することで、**雨に濡れずに移動ができる**利便性と**人を誘導する役割**を担います。

また、屋根の下は人がとどまる空間となり、駅前のにぎわいが生まれます。

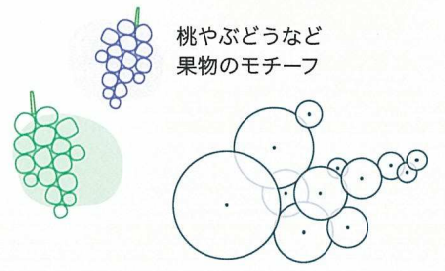


特定テーマ1に対する企画提案

「市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン」について

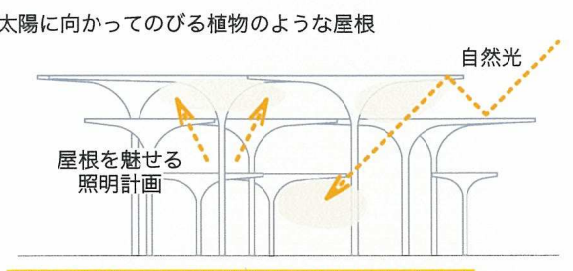
岡山駅の新たなランドマークとなる象徴的な屋根のデザイン「マスカット屋根」

●自然環境に恵まれた「晴れの国おかやま」太陽に向かってのびるような屋根をまちのランドマークに！



桃やぶどうなど
果物のモチーフ

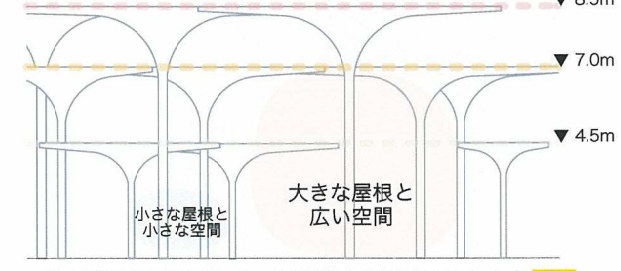
小さな円の集いで屋根を形成することで
人に寄り添うスケールの建築とします。



太陽に向かってのびる植物のような屋根

屋根を魅せる
照明計画

軒裏に反射した自然光が広場を明るく照らします。
夜は軒裏を照らす照明計画で、桃太郎大通りの遠景からも
駅前のランドマークとして屋根が浮かび上がります。

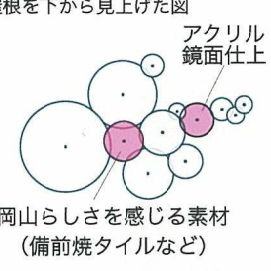


▼8.5m
▼7.0m
▼4.5m

小さな屋根と
小さな空間

大きな屋根と
広い空間

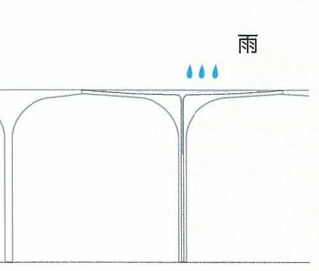
柱の疎密と屋根の大小、3種類の屋根の高さにより空間
の性質が変化します。
柱が密にあるところでは小さな屋根が連なります。



屋根を下から見上げた図
アクリル
鏡面仕上

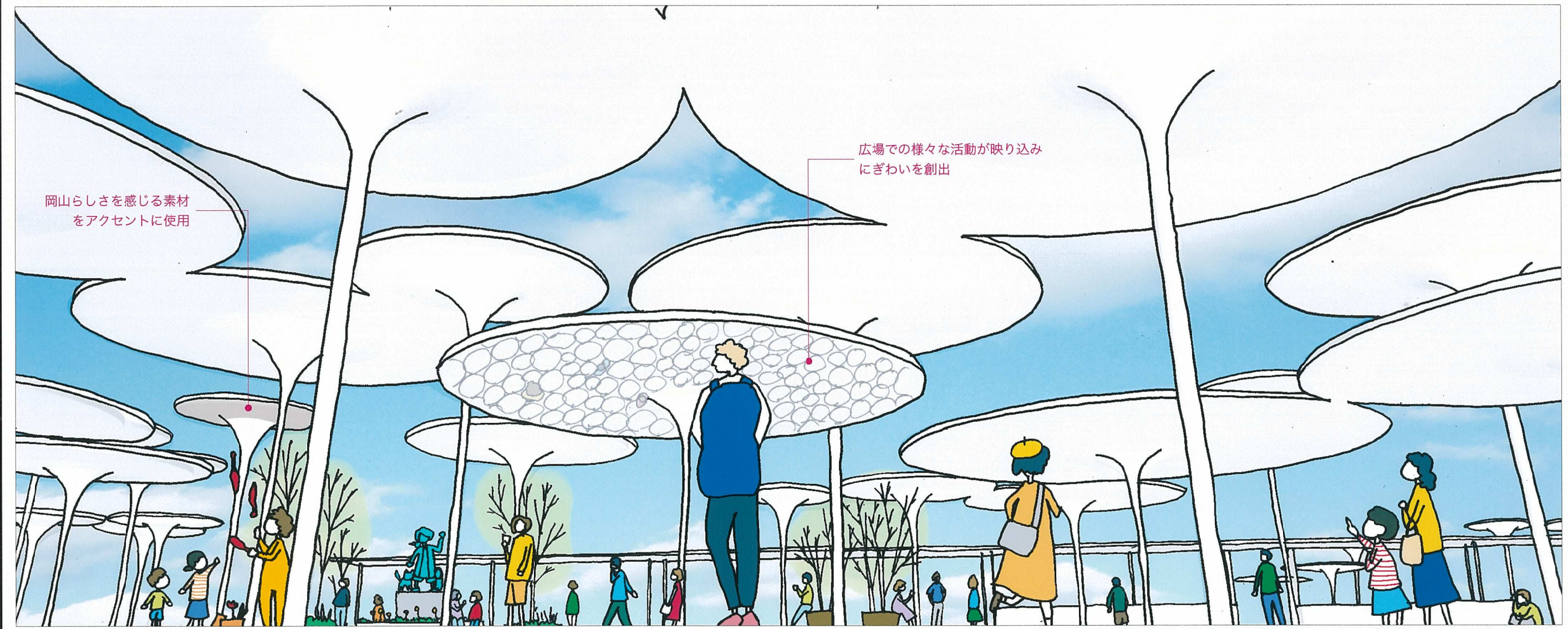
岡山らしさを感じる素材
(備前焼タイルなど)

アクセントとなるような
軒裏の仕上げを検討します。



雨

屋根で受けた雨は、中心の
柱の中を通過して排水します。



●屋根と屋根の隙間から自然光が入り、青空が垣間見える「マスカット屋根」